

# ellipse

[エリプス]

## TOPICS

### オールお茶の水と世界をつなぐ！ 国際交流留学生プラザ

Hisao & Hiroko TAKI PLAZA

楕円(ellipse)には焦点がふたつあります。男性中心の社会から、女性と男性がそれぞれに中心(焦点)となる社会を目指すという思いを込めて、誌名を「エリプス」と名づけました。



ワ・タ・シ

深津千鶴 FUKATSU, Chizu イラストレーター  
東京生まれ。1988年、お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒業。在学中に、『週刊朝日』誌上にて「山藤章二の似顔絵塾」特待生となる。広告代理店勤務を経て、1990年より作家活動を開始。書籍装画、CDジャケットなど多く手がける一方、エッセイ執筆、壁画制作などの活動を展開している。

## INFORMATION

本の紹介

「女性リーダー育成のために

ーグローバル時代のリーダーシップ論」

「2015年ノーベル生理学・医学賞受賞

大村智博士講演録 私の半生と出会った女性たち」

イベント情報

2019年度セミナー「こころとからだを拓くレッスン」

事務局よりお知らせ

## REPORT

事業報告(共催講演会)

お茶の水地理学会講演会

「グローバル化する世界に暮らす：現代

ネパールの諸相」(講師：森本 泉氏)

夢のつばさ♥プロジェクトニュース



特定非営利活動法人

お茶の水学術事業会

オールお茶の水と世界をつなぐ！

# 国際交流留学生プラザ

## H i s a o & H i r o k o T A K I P L A Z A

2019年3月、お茶の水女子大学正門脇に「国際交流」「地域貢献」「世代間交流」の3つの目的をもつ集いの場が誕生しました。



### 建物概要

建物構造：鉄骨造・地上4階建て

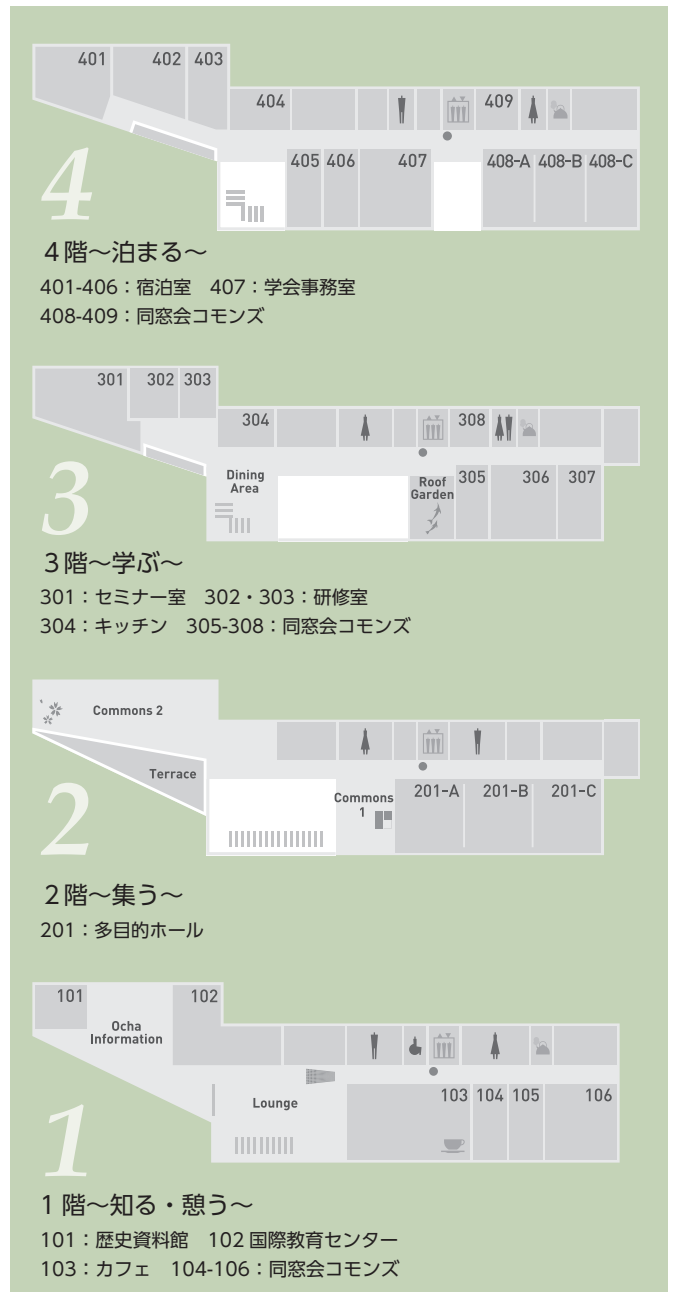
延床面積：2335.04㎡

2018年5月着工、2019年3月完成・オープン

この敷地については、春日通りに面しているという特性を生かし、地域社会とオールお茶の水の発展に寄与するような形で活用することが、長年に渡り検討されてきました。そして、滝久雄（（株）ぐるなび、（株）NKB 創業者）氏ご夫妻をはじめ、同窓生、在校生、教職員など多くの方々からの「未来開拓基金」へのご寄附により、国際交流留学生プラザの建設が実現しました。

隈研吾（建築家・東京大学教授）都市設計事務所の設計による地上4階建ての建物は、見る場所によって印象が異なるユニークな外観が目を引きまします。隈氏は「霧や霧のような、柔らかく、やさしい自然現象を建築に移し替えてみました。環境の時代をリードするお茶の水女子大学にふさわしい、自然の移ろいをモチーフにした建築です」と述べておられます。

建物内には、留学生と日本で生まれ育った学生・生徒・児童、さらには卒業生や教職員、地域の方々との交流とグローバルな学びの場としての「国際交流留学生プラザ」と、5つの同窓会（ちぐさ会、茗鏡会、鏡影会、作楽会、桜蔭会）が手を携えて協働できる空間「同窓会コモンズ」が併設されています。各フロアには、映像や資料を通してお茶の水女子大学の歴史と今を紹介するコーナー、国際教育センター、多目的ホール、研修室、会議室、同窓会のスペース、宿泊室等が設けられました。1階には、学内外を問わず誰でも気軽に利用できるカフェもあります。こうした様々な機能が、建物中



央にある大きな吹き抜けによって立体的につながれ、一体感がありつつ、開放的な室内空間が実現しました。

特筆すべきは、これらの実用スペースと併せて、日本を代表する芸術家の作品4点が館内に設置されていることです。いずれもこの建物とそこに集う人々に託す願いや明るい未来をイメージして、新たに制作されました。

このような公共空間のための芸術・文化作品を「パブリックアート」と呼びます。1950年代以降、フランスを皮切りに、ヨーロッパ各国、アメリカの各州・各都市、オーストラリアなどで、「アートのための\_%」（パーセンテージは国や自治体によって異なる）という名称で、公共建築を建設する際に、総予算の一部を美術作品の設置・購入に振り当てることを義務付ける法律が成立しました。この「パーセント・プログラム」は、芸術・文化のさらなる発展とうるおいのある社会の実現に寄与する試みとして、近年、アジアにも波及し、韓国、台湾で導入されました。日本では公益財団法人 日本交通文化協会（理事長 滝久雄氏）が中心となり「1%フォーアート」の必要性を訴えています。

こうした背景に照らしてみれば、国際交流留学生プラザは、グローバルな視点に立ち、社会貢献を意識した、これまでのお茶の水女子大学にはなかった建物と言えるでしょう。

しかし、その真価が問われるのはこれから。国際交流の場としてはもちろん、文部科学省が提唱する「開かれた大学づくり」の新しい拠点となっていくことも期待されています。社会人のリカレント教育やキャリアアップのためのプログラム、企業との協働事業など、既に様々なアイデアがあるようです。国際交流留学生プラザが、茗荷谷のランドマークとして広く認知されるようになる日も近いかもしれません。

※国際交流留学生プラザ施設利用については、お茶の水女子大学 HP に掲載されています。

◀ 国際交流留学生プラザの一時貸付について [http://www.ocha.ac.jp/general/info/plaza\\_rental.html](http://www.ocha.ac.jp/general/info/plaza_rental.html) ▶

[取材協力] お茶の水女子大学

[参考] ・国際交流留学生プラザパンフレット

・お茶の水女子大学 HP <http://www.ocha.ac.jp/>

・公益財団法人 日本交通文化協会 HP <http://jptca.org/>

### ◆国際交流留学生プラザに設置されているパブリックアート



スタンドグラス「櫻花爛漫」(2F)  
日本画家 中島千波 (東京藝術大学名誉教授)

虹の橋を世界の若人達が渡り、「希望」と「平和」が未来永劫手を繋ぐ場所になるように、との願いが込められている。



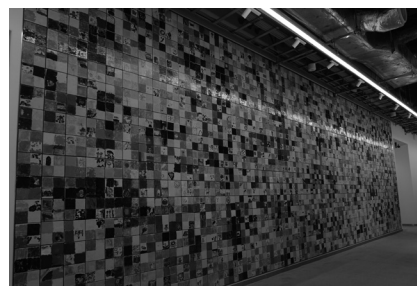
陶板「レッツ3つの色」(2F)  
現代美術家 日比野克彦 (東京藝術大学教授)

参加型のパブリックアート。「1. 3つの色相の中から今日のあなたが気になる3つの色を思い浮かべてみよう。」「2. 3つの色によって感じられるイメージを白いプレートに描いてみよう。」というメッセージが添えられ、たくさんのカラーペンが置いてある。



金属彫刻「シュプリングエン〈世界に向かって〉」  
(3F 屋上庭園)  
金工作家 宮田亮平 (東京藝術大学名誉教授)

この学び舎から羽ばたく若人達の姿をイルカに託し、若人達が全世界に発信し新たな歴史を創ってくれることを祈念して作られた。



陶板「3つの色とわたしの夢」(1F)  
現代美術家 日比野克彦 (東京藝術大学教授)

日比野氏が2018年度に附属小学校・中学校の児童・生徒980人と共に図工・美術の授業でワークショップを行い、制作したタイルからなる。

問いかけ① (学年ごとに異なる)

【小学1・2年生】 すきないろを3つさがそう。そのいろがどうしてすきなのかをはなしてみよう。

【小学3・4年生】好きな色を3つ探そう。その3つの色と似ている色のものを思い出してみよう。

【小学5・6年生】今日の自分の気分を3つの色で表してみよう。3つの色で出来る3通りの2色の組み合わせをそれぞれ言葉にしてみよう。

【中学生】自分を3つの色で表してみよう。3つの色で出来る3通りの2色の組み合わせをそれぞれ言葉にしてみよう。

問いかけ② (全学年共通) プレートの3つのマスに問いかけ①で選んだ3つの色を塗りましょう。4つ目のマスに自分の夢を絵にして描いてみよう。

「何気を選ぶ色は自分の中にある何かを伝えてくれます。それは時間を超えて、自分さえも知り得ない未来へ導いてくれるような気がします。」(日比野氏談)



◆ 本の紹介①

# 『女性リーダー育成のために ーグローバル時代のリーダーシップ論』

お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所 編  
(2019年2月、勁草書房、本体2,500円+税)

本書は、お茶の水女子大学で2009年にスタートした連続講演会「リーダーシップ論」全10回の要旨と、その集大成として2018年8月に開催された「少子高齢社会における女性リーダーとリベラルアーツ」(講演・パネルディスカッション)の紙上再現から成ります。お茶の水女子大学は、創設以来、社会の様々な領域で指導的な役割を果たす女性の育成に取り組んできましたが、その成果が一般書として出版されたのは今回が初めてではないでしょうか。

室伏きみ子学長は「はしがき」で、読者に呼びかけます。「ご講演やパネルディスカッションの記録を通して、これからの世界と日本のために、21世紀を生きる女性リーダーに求め

## 【目次】より

はしがき [室伏きみ子]

### 第I部 私の「リーダーシップ論」

- 第一章 私の考えるリーダーシップ [小林陽太郎]
- 第二章 社会におけるサーバントリーダーシップ [池田守男]
- 第三章 女子スポーツ界におけるリーダーシップ [野田朱美]
- 第四章 国際性と日本らしさ [小倉和夫]
- 第五章 東北初の女性知事として [吉村美栄子]
- 第六章 社員と共に創り上げたビジョン [足立直樹]
- 第七章 情報を読んで・発してリーダーになる [北村節子]
- 第八章 メディアにみる女性リーダーの変遷 [野村浩子]
- 第九章 未来を担う若き友人たちへ [遠山敦子]
- 第十章 ダイバーシティと『ダイバーシティ』——性別によらず多様な個人が生き生きと生きられる社会とは [山口一男]

### 第II部 少子高齢社会における女性リーダーとリベラルアーツ

- 第十一章 少子高齢社会における女性リーダーとリベラルアーツ [白波瀬佐和子]
- 第十二章 リベラルアーツ教育と女性の活躍 [山口一男]
- 第十三章 若いあなたにとってリーダーシップとは [北村節子]
- 第十四章 女性役員の「一皮むけた経験」にみるリーダー育成の条件 [野村浩子]
- 第十五章 全体討論
- あとがき [谷口幸代]



られるものは何かをお考えいただき、創出すべき未来に想いを馳せていただきたいと思います。そして、その未来の実現に向け、それぞれのお立場でのアクションへとつないでくださいますと幸いに存じます」と。

編集にあたったグローバルリーダーシップ研究所 所員の谷口幸代氏(日本語・日本文学コース准教授)は、本書の特徴として、次の3点を挙げます。すなわち「10年間にわたって継続的に当該テーマ(女性リーダー、女性のリーダーシップ)を追求してきた連続講演会の成果を問うものである」、「多様な分野における豊富な経験と深い洞察に基づく、いわば経験的リーダーシップ論が中心である」、「各講師の平易な語り口」です。また谷口氏は、10年間の振り返りを行うなかで「各講演の本質的な部分に関しては、現在もその意義は揺るがないものであることを改めて感じた」とも述べています(「あとがき」より)。

本書のタイトルでもある「女性リーダー育成のために」は、リーダーやリーダーを目指す人だけでなく、リーダーをフォローする人も、「その場で求められているリーダーシップ」を認識して行動することが大切でしょう。その手がかりとなる1冊だと思います。様々な立場のスピーカーのご発言の中に、説得力を持って心に響くものや新たな気づきをもたらしてくれるものがきっと見つかるはずですよ。

## 【谷口幸代氏より】

本書は連続講演会の歩みを時系列で迎えるように構成されていますが、どの章から読み始めても興味深いとのご感想もいただいております。巻頭から順に読む、或いは多様な分野に渡る全15章の中で特に関心のある章から読むといったように、自由に頁を開いていただければ幸いです。

## ◆ 本の紹介②

お茶の水ブックレット 11

『2015年ノーベル生理学・医学賞受賞 大村智博士講演録  
私の半生と出会った女性たち』

NPO 法人 お茶の水学術事業会 編 (2019年4月、本体500円+税)

お茶の水学術事業会は、定款に定める「教育・研究等に関する啓発書の発行」(第5条)事業の一つとして、「オールお茶の水」(大学・附属学校園・各同窓会)発の有意義な情報をコンパクトにまとめた「お茶の水ブックレット」を出版しています。これまでのテーマは、国際協力、社会問題、ライフデザイン、科学、文学など多岐にわたり、近年の第9号「子どもは変わる・大人も変わる一児童虐待からの再生」(内田伸子 著)、第10号「キャリア・デザインと子育て—首都圏女性の調査から」(「子の発達段階に応じたキャリア・デザイン」研究会)もご好評をいただいています。

2019年4月にできあがった第11号は、前年5月に山梨県で開催された大村 智博士(北里大学特別荣誉教授)の講演会の記録です。この講演会は、お茶の水女子大学の同窓会である「桜蔭会」の山梨支部が主催し、桜蔭会とお茶の水学術事業会が共催しました。

大村博士は「私がノーベル賞を受賞しましてから、この5月頃で講演は百回目になるのですが、本日だけはもう本当に変わった講演でして、どういう話になるかいまだにちょっと先の予測もできないのですが、一生懸命やってみたいと思います」(P11)と前置きをしてお話を始められました。それまで登壇された講演はノーベル医学・生理学賞を受賞したご業績など研究に関するものが多く、「半生と出会った女性たち」をメインテーマとしたものはなかったということです。自らの生い立ち、研究者の道を歩み始めたきっかけ、留学の思い出、ノーベル賞受賞につながる発見などを振り返るお話には、「一番長く付き合った」お母さま、文子夫人をはじめ、恩師、女性研究者、女流美術家たちが登場しました。さらに道元禅師の「正師を得ざれば学ばざるに如かず」、同郷の小林一三氏の「金がないから何もできないという人間は、金があっても何もできない人間である」などの金言とともに「人材育成」や「実践」の大切さにも言及され、会場は深い感銘に包まれました。

大村博士の深いご理解とご協力、桜蔭会山梨支部のご尽力により、その貴重なお話の記録をお茶の水ブックレットとして刊行することが叶いました。

当日の雰囲気や少しでもお伝えし、内容についての理解を

## 【内容】※目次より抜粋

大村智博士講演録

『私の半生と出会った女性たち』

1. 生い立ち
2. 絶えず進歩すべし
3. 北里大学KMCセミナー  
《人材育成》
4. 私の研究
5. ノーベル賞受賞に至る
6. 北里研究所を救った特許料
7. 女流美術家たちの気迫《絵を描く時は自分との果し合い》
8. 幸せとは何か《私の心得》

## 参考資料

1. 大村智博士 研究業績・学術賞・勲章・学会特別会員・称号
2. 「妻・大村文子(芙視子)の生涯」 ※講演会配布資料
3. 大村智博士ノーベル賞受賞記念講演(要旨)より「一期一会」

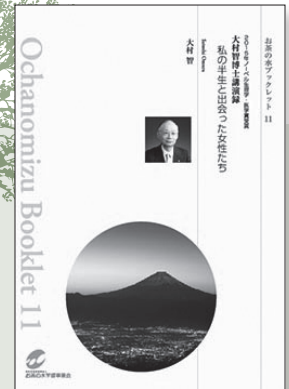
より深めていただくため、スライド資料はできるかぎりカラーで掲載しています。さらに博士のご好意により、資料として配布されたエッセイ「妻・大村文子(芙視子)の生涯」も転載することができました。

表紙の富士山は、博士の故郷・山梨県韮崎市から見える姿です。美術愛好家でもある博士が韮崎大村美術館を設立して蒐集作品とともに市に寄贈し、「若い人々への投資でもある」とおっしゃったことをご存知の方は多いでしょう。ご講演が生い立ちから始まることも踏まえ、表紙には韮崎市を代表する風景を、と考えました。博士からは「山梨らしく富士山を入れてはいかがでしょうか」とアドバイスをいただきました。

\* \* \* \*

本ブックレットの作成に関わってくださった皆様に改めて深謝申し上げます。そして一人でも多くの方に本ブックレットをお読みいただけるよう願ってやみません。

ご注文・お問合せはお茶の水学術事業会まで  
TEL: 03-5976-1478、Email: info@npo-ochanomizu.org  
Amazonでもお求めいただくことができます。



## ◆ 事業報告 共催講演会

## ● お茶の水地理学会講演会

## 「グローバル化する世界に暮らす：現代ネパールの諸相」

講師 森本 泉 氏（明治学院大学国際学部教授 平成5年卒）

【開催日時】2018年12月8日（土）14:00～16:00

【会場】お茶の水女子大学 理学部3号館701

【共催】NPO法人お茶の水学術事業会

【参加費】無料【参加人数】68名



お茶の水地理学会は公益事業として、10年以上にわたり、年に1回（12月）、様々な分野で活躍する方を講師に迎えて公開講演会を開催し、好評を博しています。2018年度は地理学科の卒業生で、長らくネパールをフィールドとして研究をしてこられた森本泉氏に、在日ネパール系移民の事例を通して、地球的課題でもある移民を取り巻く状況についてお話をいただきました。

## ● 講演要旨

近年、国境を越えて移民労働者になるネパール人が増加している。その背景には世界的な労働力需要はもとより、世界最貧国に位置付けられるネパールの経済状況や長引く政情不安が挙げられる。他方で、出稼ぎによる生活の向上が身近で顕在化してきたことも、多くのネパール人を国外へ駆り立てる要因となっている。今日では、外国からの送金がGDPに占める割合は約30%に達し、ネパール経済の重要な柱となっている。ネパール人労働者の渡航先はマレーシアや中東諸国が多く、日本は10位（2015/16～2016/17年）にすぎないが、日本においては特徴的な形状の国旗を店先に掲げたネパール料理店が増加し、コンビニでアルバイトをするネパール人を見かけることも増えてきた。

日本における外国人登録者数は1980年代から増加しているが、ネパール人が増加したのは比較的最近になってから



であり、国籍・地域別にみると2018年6月には8位となっている。在日ネパール人の在留資格をみると留学が最も多く、家族滞在がそれに続く。ネパール人が留学資格で来日するには留学資金に加えて学歴（12年間の教育修了）が必要となる。日本語学校を卒業後、卒業生の約8割が専修学校に進学し、学びながら学費や生活費を稼ぐために働いている（資格外活動として原則1週28時間以内アルバイトに従事することが認められている）。技能資格（調理師）による滞在も多く、中国人に次いで2位となっている。調理師としての来日は、1980年代以降日本で増加したインド料理店でインド人に雇用されたネパール人に起源が求められる。日本におけるインド料理店の増加に伴ってネパール人調理師も増加し、やがてネパール人が独立して料理店を開業するようになった。ネパール料理店の経営者は1店につき3～4人の調理師を呼び寄せることが可能であり、調理師として日本で働こうとするネパール人は、こうした経営者に手配料を払って渡航機会を獲得する。日本でネパール料理屋が増加したのには、このような背景がある。留学生や調理師として滞在するネパール人が呼び寄せる家族や、日本で難民認定申請をした人々にも資格外活動が認められている。以上のように在留資格に関わらず働く在日ネパール人が増加し、日本で暮らす私達にとって身近な存在となってきた。

グローバル化する世界に暮らすネパール人が隣人として増えることは、日本にいる我々もグローバル化する世界で暮らしていることに他ならない。折しも日本では労働力不足の解消を目的に、入国管理法改正案が4月から施行されることになった。既に多くの移民を受け入れてきた欧米先進国では社会的統合をめぐる包摂／排除の問題が深刻化しており、今後在留外国人が増加するであろう日本でも、同様の問題が想定される。

（お茶の水地理学会／事務局 東野真紀 講演要旨は森本泉氏による）



## 夢のつばさ♥プロジェクト

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちを長期にわたって支援することを目的として、お茶の水学術事業会を中心とした NPO 法人 4 団体によって進められている事業です。

## 2019年春の交流会

【実施期間】 2019年3月17日(日)

【開催地】 仙台市：太白区中央市民センター、生涯学習支援センター

【参加内訳】 小学生14名、中学生8名、高校生3名、大学生スタッフ・OB/OG(社会人を含む)26名、社会人スタッフ2名

【活動概要】

夢のつばさプロジェクトの春の交流会は今回で7回目の開催となりました。冬キャンプから早3か月経ち、子どもたちが新学期を迎える時期になっています。特に今回は小6と中3の小学校・中学校を卒業する子どもたちが多く、新しい環境に期待と不安が半ばしているのではないかと思います。そこで春の交流会では、「子どもたちが交流会でいつもの仲間と遊んで安心感を得て、新学期、新しい環境を迎えて頑張ろうと感じられるようにすること」を念頭に置いて企画しました。

午前中は「名前ビンゴ」というゲームを行いました。配られた紙の5×5のマスにお互い名前を書き合います。25マス埋めるため、子どもたちは学年や性別関係なく「書いて!」と声を掛け合っていました。その後呼ばれた名前をチェックし、誰が早くビンゴになるかを競いました。ビンゴの景品として、大学生が描いた特製ポストカードが渡され、子どもたちにも好評でした。

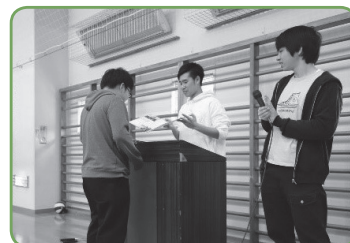
昼食後は、中央市民センター内の創作室にて手紙を書く企画を行いました。1年後の自分に向けて「〇〇に挑戦する!」といった手紙を書いて、充実した1年を過ごすことを目指



したものです。こうした機会に子どもたちの日常の話の聞くことができたのもとても嬉しいことでした。手紙を開けるのは2020年春の交流会を予

定しています。時々思い出して励みにしてくれるといいなあと思っています。そのあと、体育館へ移動して、たっぷり自由時間を楽しみました。バレーボールをしたり、バスケットボールのパス回しをしたり、鬼ごっこでかけまわったり、隅に輪になって座っておしゃべりしたり、囲碁をする子どももありました。最後に小中学校の卒業を祝う表彰式を行いました。大学生が作った記念のアルバムと色紙を渡されて、笑顔になる子、照れくさそうにする子、みな拍手されて嬉しそうでした。

子どもたちが企画を行っている間に、保護者の方とスタッフは保護者懇談会を行いました。今回は、保護者の方4名、社会人スタッフ2名、OB



社会人1名、学生スタッフ2名の計9名が参加し、学生スタッフから冬キャンプや秋から開始した高校受験対象のインターネットを使った学習支援についてご報告し、保護者の方からはご家庭での子どもたちの様子についてお話しいただきました。中3の子どもの保護者の方も参加され、受験という一つのステップを終えて、子どもの成長の喜びや、夢のつばさの活動への感謝と信頼を語られ、学生たちはそれぞれの保護者の方のご苦労や子どもへの想いを感じ入った様子でした。今回の活動統括の学生は「私たちがこの活動を通して子どもたちと関わり続けることができているのは、夢のつばさへ子どもたちを送りだしてくださる保護者の方々の存在があるからです。私たちは、私たちにできることをとにかく精一杯やっいてこう、と改めて考えさせられました。」と感想を述べています。一同、心を寄せ続けていきたいと思ひます。

最後に、夢のつばさの活動を温かく見守り支援してくださっている皆様に、改めて御礼申し上げます。今後もどうぞよろしくお願いいたします。

(夢のつばさ♥プロジェクト)

ご寄付のお願い

【口座】 三井住友銀行 大塚支店(店番号227) 普通1284200

【名称】 特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子 ※ 夢のつばさ♥プロジェクトの専用口座です。

ご寄付いただく際には、ご芳名、ご住所(連絡先)を下記までお知らせください。

※ 恐れ入りますが、税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください。

連絡先: 事務担当 滝澤公子 TEL&FAX: 03-5978-5362 E-mail: tsubasa@npo-ochanomizu.org



# お茶の水女子大学 イベント情報

学部オープンキャンパス 2019 <http://www.ocha.ac.jp/event/oc2019.html>

スケジュールの詳細については決まり次第お知らせします。

※事前申込は不要ですので、直接会場へお越しください。

※混雑が予想されます。より多くの高校生が参加できるよう、付き添いの方の人数はお一人までをお願いします。

2019年7月13日(土)	午後	理学部 説明会	数学科、物理学科、化学科、生物学科、情報科学科 説明会
2019年7月14日(日)	午前	生活科学部 Aグループ (理系)	食物栄養学科、人間・環境科学科 説明会
	午後	生活科学部 Bグループ (文系)	人間生活学科、心理学科 説明会
2019年7月15日(月)	午前	文教育学部 Aグループ	比較歴史学、地理学、中国語圏言語文化、英語圏言語文化、教育学、音楽表現 説明会
	午後	文教育学部 Bグループ	哲学・倫理学・美術史、日本語・日本文学、仏語圏言語文化、社会学、子ども学、舞踊教育学、グローバル文化学環 説明会

【問合せ】企画戦略課(広報担当) TEL: 03-5978-5105 E-mail: info@cc.ocha.ac.jp

## 理系女性教育開発共同機構シンポジウム

開催日時	イベント・講座名	参加費	備考
2019年 7月13日(土) 10:00 ~ 12:30	第17回リケジョ - 未来シンポジウム	無料	【会場】お茶の水女子大学 共通講義棟 2号館 102室 【主催】理系女性教育開発共同機構 【対象】女子中高生、保護者、教員、女子大学生・大学院生
2019年 8月25日(日) 14:00 ~ 17:20	理系女性教育開発共同機構シンポジウム 2019	無料	【テーマ】女子中高生への理系進学支援 【会場】お茶の水女子大学 大学本館 306室 【主催】理系女性教育開発共同機構(奈良女子大学との合同開催) 【対象】教育関係者、大学生・大学院生
2019年 9月16日(月・祝) 14:00 ~ 17:00	第18回リケジョ - 未来シンポジウム	無料	【会場】お茶の水女子大学 大学本館 306室 【主催】理系女性教育開発共同機構 【対象】女子中高生、保護者、教員、女子大学生・大学院生

【問合せ】お茶の水女子大学理系女性教育開発共同機構 TEL: 03-5978-5825 E-mail: ocha-cos-office@cc.ocha.ac.jp

## お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：徽音塾 2019年度

詳細と申込は、徽音塾ホームページ (<http://www-w.cf.ocha.ac.jp/leader/kiin/>) をご覧ください。

2019年度は、従来の本講座に加えて、新たにトライアル講座を開催しています。

### 【2019年度 トライアル講座】

授業時間: 13:30 ~ 15:00、15:10 ~ 16:40 (共通)

#### ●7月: パーソナル・ブランディング

7/20、7/27「『パーソナルブランド』を作ろう!」(内藤章江 [本学グローバルリーダーシップ研究所 特任リサーチフェロー])

#### ●8月: ビジネスパーソンへの教養

8/3「東アジアにおけるリーダー像の伝統と思想」(小濱聖子 [株式会社 ポピンズ ポピンズ国際乳幼児教育研究所 (PIICS) 主任研究員])

### 【2019年度 秋学期】

授業時間: 13:30 ~ 15:00、15:10 ~ 16:40 (共通)

#### ●9月: 企業会計 ※プレ講座のみの受講が可能です。

9/7「プレ講座 企業活動の成績表と簿記の仕組み」(櫻井康弘 [専修大学 商学部 准教授])

9/14、9/21「財務会計」(菱山淳 [専修大学 商学部 教授])

9/28、10/5「管理会計」(櫻井康弘)

#### ●11月: マーケティング/経営戦略 ※前半/後半のみの部分受講ができます。

11/2、11/9「マーケティング入門」(神原理 [専修大学 商学部 教授])

11/16、11/30「経営戦略の基礎」(露木恵美子 [中央大学大学院 戦略経営研究科 (ビジネススクール) 教授])

【問合せ・連絡先】お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：徽音塾 事務局 TEL: 03-5978-5501 (水・金) E-mail: kiin-le@cc.ocha.ac.jp



## 各種イベント情報

2019年7月以降に開催される各種イベントのお知らせです。

期日	イベント・講座名	参加費	備考
2019年 7月6日(土)	<b>第21回国際日本学シンポジウム</b> グローバル・ヒストリーと国際日本学 司会：小玉亮子 講演：ジョン・ピジョー（南カリフォルニア大学） "What can Japan's history contribute to world history?" 基調講演：羽田正（東京大学）「グローバルヒストリーと日本史」 研究発表：古瀬奈津子「東アジアにおける王権の古代から中世へ」 芹澤良子「衛生のグローバル化と日本」 本林響子「日本人の海外移住と日本語教育支援政策」 パネルディスカッション	500円	【会場】お茶の水女子大学 本館3階306室 ※入構の際には、身分証明書等のご提示をお願いします 【主催】グローバル・リーダーシップ研究所比較日本学教育研究部門 【詳細】 <a href="http://www.cf.ocha.ac.jp/ccjs/">http://www.cf.ocha.ac.jp/ccjs/</a> 【問合せ】グローバル・リーダーシップ研究所比較日本学教育研究部門 Email: ccjs@cc.ocha.ac.jp 【申込み】不要
2019年 7月14日(日)・ 15日(月) 12:40～13:00 *学部オープン キャンパス  10月25日(金) 12:30～12:50	<b>図書館ミニコンサート</b> 〈7/14〉演奏者：本山奏美（芸術・表現行動学科 音楽表現コース4年） 曲目：J.L.F. メンデルスゾーン作曲 幻想曲（スコットランドソナタ）嬰へ短調 作品28 無言歌集 作品62より第1番ト長調、第6番イ長調 〈7/15〉演奏者：深瀬佳楠（芸術・表現行動学科 音楽表現コース1年） 曲目：L.v. ベートーヴェン作曲 ピアノソナタ第8番ハ短調 作品13「悲愴」 〈10/25〉未定 ドリンクを片手に、ベヒシュタイン社のピアノの音色をお楽しみください。	無料	【会場】附属図書館1階ウェルカムラウンジ 【詳細】附属図書館HP「コンサート情報」をご覧ください。 <a href="https://www.lib.ocha.ac.jp/concert.html">https://www.lib.ocha.ac.jp/concert.html</a> 【問合せ】附属図書館サービス担当 E-mail: lib-serv@cc.ocha.ac.jp 【申込み】不要
2019年 9月3日(火)・ 4日(水) 10:00～17:00	<b>TIA ナノバイオサマースクール(糖鎖・レクチン)</b> 【目的、対象】： 全ての細胞を覆う糖鎖は生命に必須の生体分子であり、最近では医療分野において大きな注目を集めていますが、授業では十分に学ぶ機会がありません。そこで、糖鎖と糖鎖認識分子であるレクチンの基礎から応用について学んでいただき、糖鎖への理解を深めるとともに、新たなことに挑戦する意欲を高め、広い視野を取得することを目的としてサマースクールを開講します。世界的に活躍する大学教員および研究者による講義を柱としたプログラムは、学生の研究紹介や交流会を組み込み、他大学の学生やトップ研究者と交流する機会を設けています。糖鎖、レクチンについて学びたい学生や社会人の方を対象とします。	無料	【会場】お茶の水女子大学 国際交流留学生プラザ多目的ホール 【主催】産業技術研究所つくばイノベーションアリーナ推進本部 【共催】お茶の水女子大学 【募集人員】40名程度 【詳細】Nanotech CUPAL ホームページ 【申込み】メールでお願いします。 E-mail: nanotech-cupal-ml@aist.go.jp
2019年 9月15日(日) 9:20～10:50	<b>お茶の水女子大学附属高等学校 学校説明会</b>	無料	【会場】お茶の水女子大学 講堂 【主催】お茶の水女子大学附属高等学校 【詳細】 <a href="http://www.fz.ocha.ac.jp/fk/menu/guidance/explanation.html">http://www.fz.ocha.ac.jp/fk/menu/guidance/explanation.html</a> 【問合せ】お茶の水女子大学附属高等学校 Tel: 03-5978-5856 【申込み】事前申込みは不要です。身分証明書をご持参ください。
2019年 10月26日(土)	<b>令和元年度 お茶の水女子大学附属中学校 教育研究協議会</b> 「『振り返る力』を核にした探究的な学習のカリキュラム・デザイン ～主体的に社会参画していく生徒の育成を目指して～」 ①基調提案 ②公開授業Ⅰ・Ⅱ ③研究協議 ④講演：楠見孝先生（京都大学）	2000円 (資料代)	【会場】お茶の水女子大学附属中学校 【主催】お茶の水女子大学附属中学校 【問合せ】お茶の水女子大学附属中学校：研究帰国部 Tel: 03-5978-5862 Fax: 03-5978-5863 【申込み】詳細は第二次案内(9月)でご案内<事前申込制>
2020年 2月20日(木)・ 21日(金)	<b>お茶の水女子大学附属小学校 第82回教育実習指導研究会</b>	一般 4000円  学生 2000円	【会場】お茶の水女子大学附属小学校 【主催】お茶の水女子大学附属小学校 NPO法人お茶の水児童教育研究会 【詳細】附属小学校HPにてお知らせします <a href="http://www.fz.ocha.ac.jp/fs/">http://www.fz.ocha.ac.jp/fs/</a> 【問合せ】Tel: 03-5978-5875 Fax: 03-5978-5872 【申込み】11月下旬ごろ、附属小学校HPにて事前受付開始予定

**同窓会コモンズオープン記念チャリティーコンサート****ヘーデンボルク・トリオコンサート  
～三兄弟が母の故郷に届けるウィーンの調べ～**

【日時】 2019年11月17日(日) 14:00～(開場 13:15)

【会場】 徽音堂(お茶の水女子大学講堂)

## 【演奏者】

ヴィルフリート・和樹・ヘーデンボルク (ヴァイオリン)  
ベルンハルト・直樹・ヘーデンボルク (チェロ)  
ユリアン・洋・ヘーデンボルク (ピアノ)

## 【演奏予定曲目】

ベートーヴェン: ピアノ三重奏曲 第5番 二長調 Op.70-1 「幽霊」  
クライスラー: 美しきロスマリン (ヴァイオリンとピアノのデュオ)  
ラフマニノフ: ポカリーズ (チェロとピアノのデュオ)  
クライスラー (ラフマニノフ編曲): 愛の悲しみ (ピアノソロ)  
黛 敏朗: 文楽 (チェロソロ) ほか

◎ コンサートの入場料収益は「お茶の水女子大学未来開拓基金」に寄附されます。

【主催】 ヘーデンボルク・トリオ in 徽音堂実行委員会  
(お茶の水 5 同窓会 桜蔭会・作楽会・鏡影会・茗鏡会・ちぐさ会)

【共催】 お茶の水女子大学

【お問い合わせ】 TEL: 03-3941-4296 (桜蔭会)

**2019 年度 お茶の水学術事業会セミナーのご案内**

2017 年度、2018 年度に実施し、大変ご好評をいただいたセミナーを今年も開講します。ぜひご参加ください。

**「こころとからだを拓くレッスン」**

講師: 猪崎 弥生 氏 (放送大学東京足立学習センター所長・特任教授、お茶の水女子大学名誉教授)、落合 敏行 氏 (企画集団「落合商店」主宰)

音楽と共からだを動かすことを通して、自分自身を慈しむひと時を過ごしていただきたいと思います。



【開催日時】 2019年11月14日(木) 10:00～11:30

【会場】 お茶の水女子大学 Student Commons 2F  
マルチパーパス1 (東京都文京区大塚 2-1-1)

【受講料】 500 円

【持ち物・服装】 飲み物、動きやすい服装 (更衣室あり)

【定員】 25 名程度 (先着順)

【申込み受付】 2019年10月7日(月)～(予定)

メールまたは FAX に以下の内容をご記入のうえ、お茶の水学術事業会事務局までお申し込みください。

① 件名を「セミナー申込み」としてください。② 氏名(フリガナ)・③住所・④ 電話・⑤ Email

【お問い合わせ・ご連絡先】 TEL&amp;FAX: 03-5976-1478

E-mail: info@npo-ochanomizu.org

**2020 年度 共催講演会・助成金事業の募集について**

お茶の水学術事業会は、定款に定める「教育・研究活動に関する事業」の一つとして以下の事業を行っています。

## 1. 講演等の共催事業

広く一般に向けた参加予定人数が 50 名以上の講演会を対象とし、講師謝礼金の助成(上限 3 万円)、講師交通費(実費)の支給、広報協力等を行う。

## 2. 学術・調査・研究・教育等の活動運営支援事業(助成金の支給)

- 【対象】(1) 学術・調査・研究・教育等の活動
- 
- (2) 学術関連等の出版事業
- 
- (3) 国内及び海外におけるボランティア活動
- 
- (4) 国際協力研究・教育支援事業
- 
- (5) 保育及び子どもの健全育成のための活動

【助成金額】 事業費の 2 分の 1 以内とし、1 件につき 10 万円まで

## ● 2020 年度の共催講演会・助成金事業の募集について

【対象となる事業期間】 2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日

【申請受付】 2 回に分けて受け付けます。

第一次: 2019 年 10 月 1 日～11 月 30 日

第二次: 2020 年 4 月 1 日～5 月 31 日

※受付期間終了後に、審査を行います。

【詳細】お茶の水学術事業会 HP「共催・助成金」をご覧ください。

<https://www.npo-ochanomizu.org/kyousai.html>

※ 2020 年度の応募要項は 2019 年 9 月以降に掲載する予定です。

【申請・お問い合わせ】お茶の水学術事業会事務局

Email: info@npo-ochanomizu.org TEL: 03-5976-1478

**編集後記**

3 年ぶりにお茶の水ブックレットの新刊を発行することができました。編集過程で大村博士は、度重なるこちらのお願いに快くそして予想を上回るスピードでご対応くださいました。博士のお人柄と行動力を目の当たりにし、冊子の内容がより説得力のあるものに感じられました。

**広告募集**

このページに広告を掲載しませんか? 次号は 2019 年 10 月に 2500 部発行予定です。会員の皆様はじめ全国の公共機関などに配布しています。広告料金は、1 回につき 20,000 円。詳しくは下記までお問い合わせください。

**事務局****OPEN 月～金 10:00～16:00**

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1 お茶の水女子大学 理学部 3 号館 204

TEL&amp;FAX 03-5976-1478 E-mail: info@npo-ochanomizu.org

<http://www.npo-ochanomizu.org>

※会員の方は、お問合せの際、会員番号をお知らせください。会員番号は封筒の宛名ラベルに印字してあります。

**環境ラベル「GP マーク」のご紹介**

お茶の水ブックレット第 11 号、「ellipse」第 49 号より、最終ページに双葉のような形をした環境ラベルを表示しています。

「GP = グリーンプリンティング」とは、2006 年に社団法人 日本印刷産業連合会が設けた業界自主基準で、GP マークは印刷製品の製造工程と印刷資材が環境に配慮されていることを示すものです。



- ① 製造工程環境配慮の度合いを 3 段階(★の数)で示します。
- 
- ② グリーンプリンティングの頭文字「G」「P」を組み合わせ、柔らかな若葉をイメージしています。また「印刷」の「印」の文字も連想できる形になっています。
- 
- ③ 印刷製品を製造した認定工場の認定番号が記されています。

ゲリラ豪雨や竜巻の発生、日本の四季の異変など、私たちを取り巻く自然環境がおかしいと実感することが増えました。最近よく耳にする「SDGs」(Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標)には、生産消費形態の見直し、気候変動及びその影響を軽減するため対策、環境保全の取り組みに関する内容が盛り込まれ、私たち NPO 法人にも環境や将来世代に配慮しつつ活動することが求められています。

ささやかでもできることから…。環境への負荷をできるだけ減らす方法で冊子やブックレットを制作していきたいと思えます。



## ◆事務局所在地

東京都文京区大塚 2-1-1  
お茶の水女子大学  
理学部 3 号館 204

## ◆交通機関

地下鉄 丸の内線

茗荷谷駅から徒歩 7 分

地下鉄 有楽町線

護国寺駅から徒歩 8 分

都バス

大塚 2 丁目バス停すぐ

